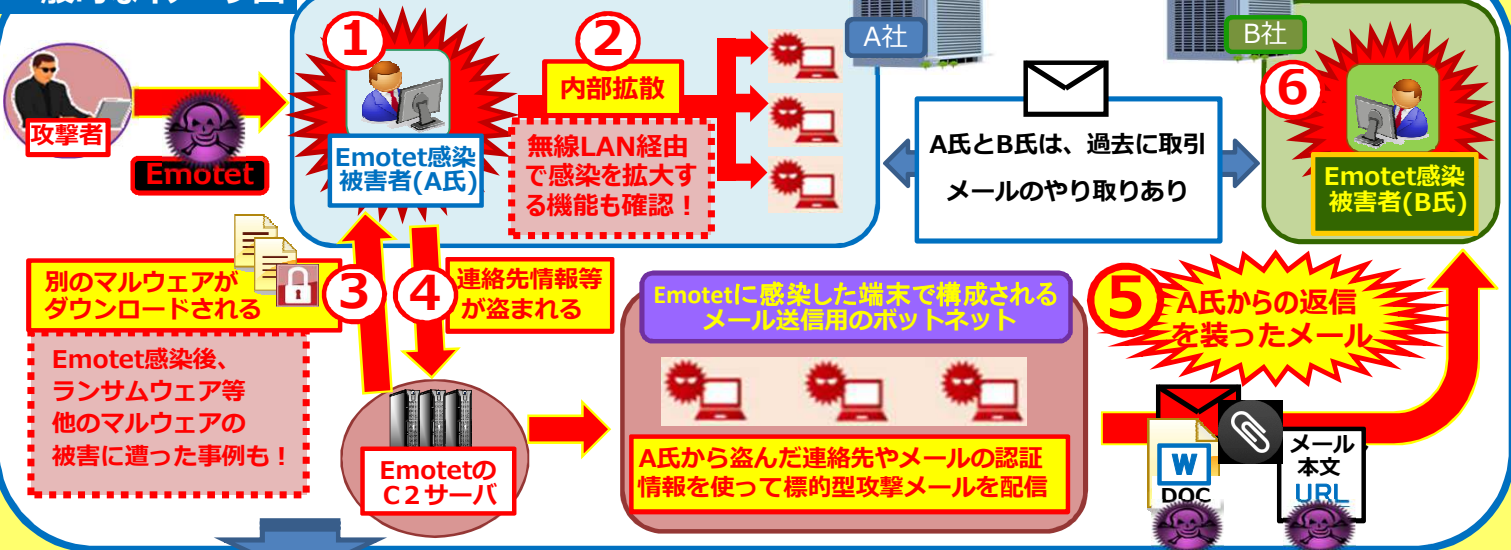




マルウェア「Emotet (Emotet)」感染被害拡大中!

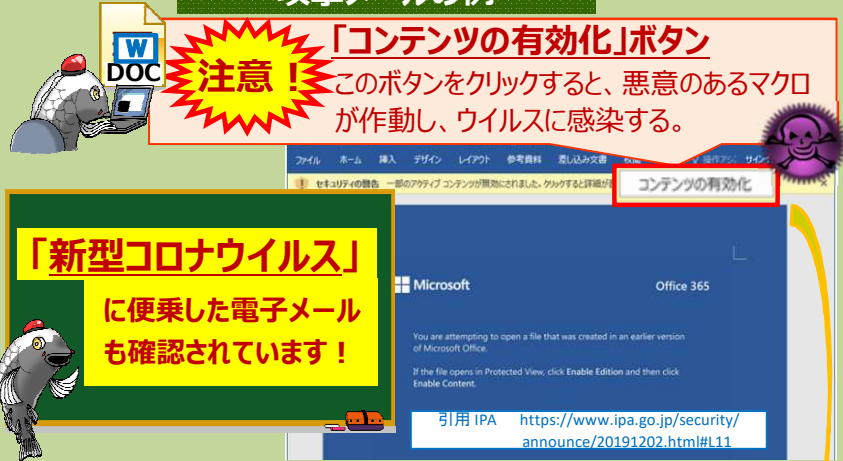
一般的なイメージ図



イメージ図の説明

- ① A氏のPCが何らかの原因で「Emotet」に感染する。
- ② A氏のPCからA社内他のPCに感染が拡散する。
(無線LAN経由で感染を拡大する機能も確認)
- ③ A氏のPCに別のマルウェアがダウンロードされる。
「Emotet」感染後、ランサムウェアに感染させられた事例もある。
- ④ A氏のPCから連絡先・メールの認証情報等が窃取される。
- ⑤ 「Emotet」に感染したボットネットから、A氏からの返信を装ったメールがB氏宛に送信される。
- ⑥ B氏がメールの添付されたワードファイルを開き、マクロを有効にするあるいは、メール本文のURLをクリックすることで「Emotet」に感染する。

攻撃メールの例



「Emotet」感染有無の確認と削除

～ JPCERT/CCよりリリースされた「EmoCheck」で確認できます～

- ① 「EmoCheck」をダウンロード
- ② 「EmoCheck」の実行
コマンドプロンプトまたはPowerShellで実行
- ③ Emotetのプロセスが見つかりました
- ④ Emotetのタスクを終了
タスクマネージャーを起動し、実行結果に表示されている「プロセスID」を選択し、タスクを終了。
- ⑤ Emotetを削除
「イメージパス」のフォルダ部をエクスプローラーで開き、表示されている「exe」ファイルを削除。
- ⑥ EmoCheckを再実行し検知なしを確認

感染予防、感染被害最小化のための対策

- 組織内への注意喚起の実施
- Wordマクロの自動実行の無効化
(Wordのセキュリティセンターのマクロの設定で「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」を選択)
- メールセキュリティ製品の導入によるマルウェア付きメールの検知
- メール監査ログの有効化
- OSに定期的にパッチを適用
- 定期的なオフラインバックアップの取得
(標的型ランサムウェア攻撃への対策)